

POLE

北海道ポーランド文化協会会誌「ポーレ」
第22号 1993, 3, 5

発行
北海道ポーランド文化協会
〒060 札幌市中央区南2東2
河合楽器製作所北海道支社内
電話 011-231-8661
FAX 011-221-4936

第一九回例会

講演会「現在のポーランド」

北大スラブ研究センター教授

伊東孝之氏

日時
場所

三月十三日(土) 午後三時より
札幌国際交流プラザ3Fサロン
(北一西三、札幌MNBビル)

入場無料

数日前に現地から帰ってこられた伊東先生から、現在のポーランドの情勢と展望をおうかがいする講演会を催します。今までポ文協の中心のメンバーとして活躍なさってきた東欧の専門家である伊東先生が、四月から東京へ移られることになりました。その前に、ポ文協で親しく先生からお話を聴ききたいという企画です。多数のご来聴をお待ちしています。

なお講演会修了後に次のように、講師の伊東先生を囲んで懇談会・送別会を行います。広く会員のご参加を望んでいます。

懇談会・送別会(会食)

時間：十七時より約二時間
場所：すみれホテル(北一西二)
電話：二六〇一五二五二
会費：二千五百円程度

なお懇談会・送別会にご参加予定の方は、準備の都合上、前もって、事務局長吉田宏までご連絡ください。

連絡先は
(勤) 七一六二二一一
(内線) 六七四七
(宅) 七七八八二二六

ビスワとジャウカ

三沢 民子

ビスワは、ワルシャワを流れる川の名前、ジャウカとは貸し農園のことである。複数になると、ジャウキという。貸し農園はヨーロッパ各国にあるが、ポーランドのそれは、他の国のものより整然としていて、市民に愛されているようにみえる。一戸分が街中のもので300平方メートル、郊外のは500もあり、多くは果樹を植え、花や野菜を作っているが、小屋を建てて別荘気分も味わえる。それぞれフェンスで囲い、錠前と番号札を付け、郵便だって届きそうにみえる。縦横に小道があり、乳母車のお散歩にはもってこいだし、このジャウキ全体がさらにフェンスで囲まれたかなり大きな緑地帯として、市民の憩いの場所として大切に守られている。それが思いがけないほど街の中心部に近いところやアパート群の中にもあり、空き地緑地に馴れてきた日本人の目には何とも羨ましくうつる。

「もしも日本だったら、とつくにピルなりマンションなりになつてるよねえ」である。

ワルシャワの人口は170万、札幌と同程度の都市である。すでに市民の約半分とも3分の1ともいわれる世帯がこの貸農園を持っているという。持つことが夢であるとも、ステータス・シンボルであるともいわれている。私は、街中のジャウキを何度も通り抜けてみたが、畑の入口で、花や野菜を置いて売る人、日光浴、トランプあそび、昼寝など思い思いのことをして楽しんでる。郊外タイプのそれは少し違う。小屋というより、もはや別荘と呼ぶべき家も建っているし、粗末な小屋でさえも家族数人でひと夏ずつと過ごしているという人々にも会った。

ワルシャワでは多くの人がアパート暮らしだから、それなりに他人の生活に接し過ぎないように、注意しながら過ごしているのかもしれない。行政側がこの農園制度を推奨する理由の一つに、隣あつた畑の主との親しい付き合いを、ということがあるという。住宅より畑の方が利害がないのかも知れない。また、子供のころから土にしむこと、植物の生育

を知ることもしわわれている。さらにこれら素人の畑では、申し合わせによつて農薬や化学肥料を使用しないことになっている。果物はそのまま口にできる。多くの家庭が自前のジュース、果実酒、コンポート、ジャムを作り、赤ちゃんにも離乳期から安心して与えられるからだそうだ。農薬や化学肥料を使わない果樹だからか、ジャウキには蜂が多い。受粉も撤果もしないで、枝が地につくまで実をならせ、袋をかけず、自然栽培そのままである。たしかに、商品としてはCクラスだが、そこには昔のままの味と形が残っている。

ポーランドの人々は、小さな畑にいろんな夢を託しているようにみえるが、それはなぜだろうか。ここでもう一つの現実、ポーランドの水事情を考えなければならなくなる。ワルシャワ市の水道水はまずくて飲めない、ということになっている。一〇年くらい前までは、飲んでいたというから近年のことである。水源は国土の中心および市を貫流するビスワ川で、濁った流れの中に取水塔がある。それを知ったときはびつくりした。川の上流には鉄工業地帯があり、水を調べると重金属が分離されるといふのはそのせいだろうか、近年さらにまざるようになったのはなぜだ

うか。生活排水などの汚れが増えたのだろうか。台所用洗剤だって肉料理が主だから日本以上に必需品である。水が悪いということは実に悲しいことである。日帯、飲み水を買うということは、水清き日本では知らないでしまふが、ワルシャワでは、外国製(ドイツ産フランス産)の水がボトルで売られ、結構な値段がついている。収入に占める金額も大きい。一、湯茶のみにとどめるか、二、スूप・煮物・ご飯を炊くのにも用いるか、三、米を洗う・卵をゆでるところまで使うか。この第二段階位で収入の全部が水代になる。だから、市ではあちこちに地下水を汲み上げる設備をしており、数本の蛇口が立ち上がっている水汲み場に市民の行列が出来る。手に手にポリタンクを持って。しかし水は重い。乗用車のない者にとつては難業である。実はその地下水も品質保証とはいえず、雑菌が増殖するので、冷蔵庫にいれて一週間が限度といわれている。

個人の家庭では、やむを得ず水を買うが、職場や学校の飲料水はどうなっているのだろうか。仕方がないから、自分の飲み水は、水筒に入れて持っていく。お客の分はどうしよう。水の味がわからないほど濃いコーヒーを出す。この水で洗濯するとすでに入っている塩素が何かで色落

(次頁の最下段へ)

ポーランドの学校では

— アンナ・ワタさんにきく —

北大留学生マリウシュ・ワタさんの夫人アンナさんに、ポーランドの学校と子供達についてお話を聞きました。

アンナさんは来日前、ワルシャワで学校の先生をしていらっしやいました。

以下はアンナさんのお話です。

◇まず何才で入学するかというといわゆる学校へは七才で入ります。十五才まで八年間が義務教育です。日本の中学までにあたりますね。それを一級から八級までと表します。日本と違うのは入学前に〇級という学年が一年あって、六才になるとこの〇級に入学しなければなりません。これは義務的なものです。ここで文字の読み方をおぼえたり、おもちゃを使って数を二十まで数えられるようになってきたりと遊びを通して学んで学校に入る準備をします。

評価はありません。

この〇級に入る方法は二通りあります。幼稚園に通っている子の場合六才になったとき同じ幼稚園で〇級

をすすす方法、もう一つは小学校にある〇級です。〇級のプログラムは全国共通どこでも同じです。

新体制になって、ごく少数ですが私立の幼稚園、小中学校、大学もできてきました。現在のところ〇級のプログラムは公私共通です。

◇ここでちょっと私立学校について話しましょう。

私立の学校の場合、プログラムが国立のそれとは違うので、勉強しないこともでてくる可能性があります。又ある程度それぞれの学校の自主性にもとづいた学習内容なので、子どもがどういった教育を受けるかの保障がありません。それと国立はすべて無料ですが、高い授業料を払わなければなりません。

でもいい点もあります。まず設備がいい。一クラスの人数が少ない。またお給料もいいのでよい教師が集まり、質の高い教育を受けることができます。

教師は自分の考えにもとづいて独

自のプログラムをもつことが許されます。一定の枠の中でのことですが今まではなかったことです。

◇次に学習の内容についてお話しします。土、日曜日は休みですから週五日学校へ行きます。

まず一級〜三級までを初等教育といっています。一級は週十八時間、二級は二十二時間、ちなみに日本では一年生二十四時間、二年生二十五時間、六年生三十時間です。

学習する教科は、環境・音楽・算数・国語・工作。

「環境」という教科は、自分のまわりの動物・植物について、知識と関心をもつことから始め、学年が四級になったとき、地理、と、自然、に分かれて、より詳しく学ぶしくみになっています。

五級になって外国語と歴史が加わります。外国語はそれぞれの地域の事情に応じて、例えばロシア語の教師しかいなければロシア語を学ぶ。都会ではだいたい英・独・露語から一つを選ぶことになっています。✓

ちするから、自衛策として強い化繊を愛用することになるそう。日本ではあまり着なくなったペラペラの化繊の方がよいそうで、初めのうち不思議でならなかった。すでに水を汚してしまった都市。収入源である鉄工業をやめることはできない。難しい問題ではあるが、せめて土を汚さないでほしい。小鳥も虫もたくさん生きてほしいと思わずにはいられなかった。

*ボ文協会員である三沢正博氏夫人ご一緒に一年間ワルシャワに居住。

会費納入について

POLIEの先号に今年度会費のお願いしたところ、多数の会員から会費納入をいただきました。

現在、全会員数は一七一、年会費総額は六六一千円ですが、今までに九四会員(五五%)

納入総額四四七千円(六八%)の納入をいただきました。

また今年度分(一九九二年一月から九三年九月まで)の会費を納入いただけない方は、できるだけ早く納入下さるようお願いいたします。

やさしいポーランド語会話

2

Bardzo mi miło!

A. Dzień dodny!

B. Dzień dobry!

A. Czy pani Mary Brown?

B. Tak, jestem Mary Brown.

A. Jestem Tadeusz Nowak.

B. Bardzo mi miło!

A. Bardzo mi miło!

[ジ・イ・ド・ブ・メイ] こんにちは、
こんにちは

[ツイ・ハニ・マリ・ブ・ラウ] マリー・ブラウ
ンさんですか?

[タ、イ・エ・テム・マリ・ブ・ラウ] はい、マリ
ー・ブラウンです

[イ・エ・テム・タ・デウ・シ・ノウ・ワク] 私はタデウ
シュ・ノバックです

[ハ・ミ・ツ・オ・ミ・ミ・ワ] はじめまして

[ハ・ミ・ツ・オ・ミ・ミ・ワ] どうぞよろしく

Paniは「～さん」に当たる言葉ですが、相手が女性の場合（既婚・未婚を問わず）に使います。相手が男声の場合にはpan[ハ・ン]を使います。

bardzo mi miło は、初対面のあいさ

つに欠かせない表現です。「（お目にかかれて）とても・私は・うれしい」ということです。「はじめまして」「どうぞよろしく」にあたる表現です。

六級・七級で物理・化学を勉強し、八級では日本でいう一般社会或は公民というような内容でしようか、政
党、議会、憲法などの勉強をします。
体育は一、八級までありますが、
四級から男女に分かれてそれぞれ好
きなスポーツをします。男の子はサ
ッカーなど。女の子はバレーボール、
バスケットボールなど。水泳はどち
らもします。
八級で週三十時間の勉強。一時間
は四十五分です。
◇新体制になってかわったことは、
いくつかあります。
共産主義時代には宗教教育は教会
で受けることになっていましたし、
教会が差別されてしまったので、あ
まり目立った動きはできませんでし
た。新体制で自由になってからは、
教会の声が大きくなり発言力がつい
てきました。今は一級から八級まで
宗教は学校で学ぶことになっていま
す。
これは残念なことです。宗教は個
人の問題であって強制されたくない
と多くの人は考えています。今まで
の体制から自由になったために、反
対の方向に極端に行ってしまったけ
れど、最近教会の力も弱まって支
持者も一時よりは少なくなってきました。
ポーランドのカトリック教
徒は90%を切るのではないかと思
います。

先生はそれらの子どもにも補習をさせ
ます。今までは先生は補習の分の報
酬ももらうことができたが、現
在は教育予算が少ないのでもらえま
せん。又これまで週十六時間教えら
れた。辞めた先生がいても補充せず
残った先生がカバーするので大変で
す。

待遇は、共産主義時代もそれほど
良くはありませんが、今はもっと良
くないので、これからは教師になり
たい人は少なくなるかもしれません。
共産主義時代の方が良かったと思
う点もいくつかあります。
まず宗教ですが、これは今お話し
しました。

次に、以前は学校がお金をもって
いて豊かでした。クラスの中には勉
強についていけず遅れる子もいま

〈記録・齊田〉

「ポーレ」編集委員会

斎田道子・清水保子

吉田 宏

〔連絡先〕 621-1738 (斎田)

POLE 第 22 号(1993.3.5)目次

| | |
|-------------------------------------------|---|
| 〈第 19 回例会〉「現在のポーランド」(伊東孝之、1993.3.13)のお知らせ | 1 |
| 三沢民子「ビスワとジャウカ」 | 2 |
| 斎田道子「アンナ・ワタさんにきく～ポーランドの学校では」 | 3 |
| やさしいポーランド語会話 | 4 |